

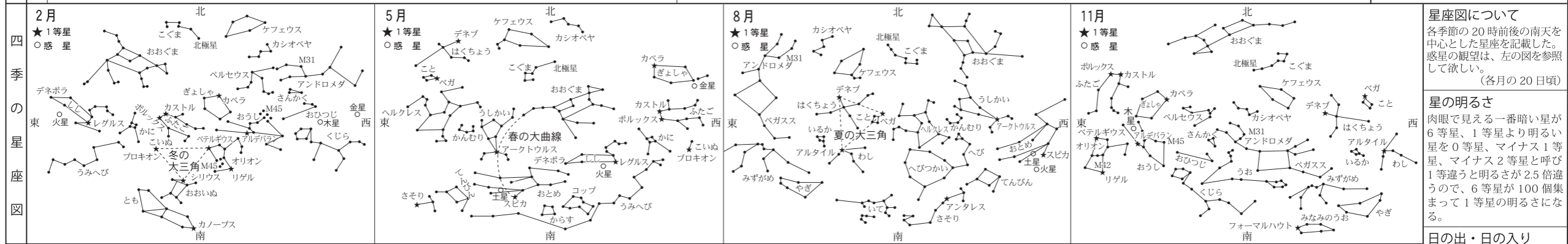
平成24年 天体観測早見表

(2012年) 壬辰 (みずのえ たつ・じんしん)

| 項目 | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 備考 |
|----------|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 太陽現象 | 太陽現象 | 1日 元旦 | 4日 立春 | 20日 春分の日 | | 5日 立夏 | 21日 夏至 | | 7日 立秋 | 22日 秋分の日 | | 7日 立冬 | 21日 冬至 | 天文単位 地球太陽間平均距離 1億4,959万7,870km |
| | 各地の日の出・入り | 1日の日の出・入り 7:23 7:05 7:00 6:50 17:21 16:58 16:51 16:38 | 1日の日の出・入り 7:15 6:57 6:52 6:42 17:49 17:26 17:20 17:08 | 1日の日の出・入り 6:47 6:27 6:22 6:11 18:15 17:54 17:48 17:36 | 1日の日の出・入り 6:06 5:45 5:39 5:28 18:39 18:19 18:14 18:03 | 1日の日の出・入り 5:30 5:08 5:01 4:49 19:01 18:43 18:38 18:28 | 1日の日の出・入り 5:09 4:46 4:39 4:27 19:24 19:06 19:02 18:51 | 1日の日の出・入り 5:12 4:49 4:41 4:29 19:33 19:15 19:11 19:01 | 1日の日の出・入り 5:31 5:08 5:01 4:49 19:18 19:00 18:56 18:45 | 1日の日の出・入り 5:52 5:31 5:25 5:13 18:44 18:25 18:19 18:09 | 1日の日の出・入り 6:13 5:53 5:47 5:36 18:03 17:42 17:36 17:25 | 1日の日の出・入り 6:37 6:18 6:13 6:03 17:26 17:04 16:58 16:46 | 1日の日の出・入り 7:04 6:47 6:42 6:32 17:10 16:47 16:40 16:28 | 太陽年 365日5時間48分45秒 |
| 月・流星・その他 | 月令 | ●○●●●● 1 9 16 23 31 | ○●●●●● 8 15 22 | ●○●●●● 1 8 15 22 31 | ○●●●●● 7 13 21 29 | ○●●●●● 6 13 21 29 | ○●●●●● 4 11 20 27 | ○●●●●● 4 11 19 26 | ○●●●●● 2 10 18 24 31 | ●●●●●○ 8 16 23 30 | ●●●●●○ 8 15 22 30 | ●●●●●○ 7 14 20 28 | ●●●●●○ 7 13 20 28 | ●望○朔 上弦・満月・下弦・新月 |
| | 観測メモ | 宵の空に明星金星が明るい。 | | 火星が、しし座で観望の好期 15日夕方の空で、金星と木星が接近 | 土星がおとめ座で、観望の好期 | 21日、九州から関東の太平洋岸で金環日食がみられる。 | 4日 部分月食 6日 金星の日面経過が全国で見られる。 | 13日 金星が最大光度 -4.5で、明けの明星として輝く。 | 17日 夕方の空で、火星と土星が接近 | 30日 中秋の名月 | 21日 オリオン座流星群が極大 | 28日から29日にかけて半影月食 | 木星がおうし座で、観望の好期 | 1朔望月 平均して29.53日 満月の明るさ -12.6等級 月面観測 月令4-9が適期 望遠鏡倍率×50~×100 |
| 惑星 | 水星 | 光度等級 毎月1日 -0.4 東の空 | -1.1 | -0.8 | 2.0 | -0.0 | -1.8 | 0.5 | 4.2 | | -0.4 | 0.0 | -0.2 | 公転周期 88日 太陽に近く日の出前か日没後の薄明の中でしか見ることができない。 |
| | 金星 | 光度等級 毎月1日 -4.0 西の空 (宵の明星) | -4.1 | -4.2 | -4.4 | -4.5 | -3.9 | -4.4 | -4.4 | -4.2 | -4.1 | -4.0 | -4.0 | 公転周期 225日 「宵の明星」「明けの明星」「金星」と三つの呼び名があり、時期により形を変える綺麗な天体である。 |
| | 火星 | 光度等級 毎月1日 0.2 | -0.6 | -1.2 | -0.7 | -0.0 | 0.5 | 0.9 | 1.1 | 1.2 | 観望に適さない | | | 公転周期 1.9年 火星は軌道の関係で2年2月おきに地球に近づいてくる。 |
| | 木星 | 光度等級 毎月1日 -2.6 形状 ●○● 木星のガリレオ衛星は毎日その並びが変わる | -2.3 | -2.2 | -2.1 | 観望に適さない | | | -2.2 | -2.3 | -2.5 | -2.7 | -2.8 | 公転周期 11.9年 地球の1,300倍もある大きな惑星で有名なイオ・ユーロパ・ガニメデ・カリストのガリレオ衛星(四大衛星)が回っている。 |
| | 土星 | 光度等級 毎月1日 0.7 形状 ●○● | 0.6 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 0.7 | 0.8 | 観望に適さない | | | 公転周期 29.5年 A、B、Cの環を持つ。 ほぼ15年毎に環が見えにくくなる。 | |

日食・月食 ●金環日食=5月21日 日食の見られる地域は、九州から関東にかけての太平洋岸の広い地域で金環日食が見られる。日本のその他の地域でも食分の大きい部分日食が見られる。日食現象の各地予報は、国立天文台計算室ウェブサイトの日食各地予報を参照して下さい。
●皆既日食=11月14日 日食の見られる地域は、太平洋南部を横切る細長い帯状の地域(オーストラリア北部ケアンズ近く)、シドニーは部分日食。日本では見られない。

●月食は2回見られる
1回目 6月4日の部分月食。東京での部分食の始まり18時59分、部分食の終りは、21時07分。半影食は、眼視観測では気づきにくい。本影食は少しである。
2回目 11月28日から29日の半影月食。半影食の始めは28日21時12分、半影の終りは29日1時53分。半影食は、眼視観測では気づきにくい。



| | | | | | | | | | | |
|----------------|-------|--|-------------------|-------|---|---|---|------|-----|----|
| H24年度理科の天体教材配当 | 小学校3年 | 6. 太陽のうごきと地面のようすをしらべよう 1. かげのでき方と太陽のうごき 2. 日なたと日陰の地面のようす 7. 光のはたらきをしらべよう 1. 光のすすみ方 2. 光の明るさとあたたかさ | 10時間 6時間 | 中学校3年 | 単元5 地球と宇宙 1章 天体の1日の動き 1. 太陽の動き 2. 星の動き 3. 天体の動き 2章 天体の1年の動き 1. 四季の星座 2. 季節の変化 3章 太陽と月 1. 太陽のすがた 2. 月の運動と見え方 4章 太陽系と銀河系 1. 太陽系のすがた 2. 惑星の見え方 3. 銀河系と宇宙の広がり 終章 太陽の位置から方角を知る 太陽の位置から方角を知る まとめ・単元末問題 | 6時間 5時間 5時間 6時間 2時間 1時間 | ★流星情報★ おもな流星群で、今年良・最良の予報をあげています。 ★太陽系惑星★ 2006年8月の国際天文学連合総会で太陽系の惑星は、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星の8つになりました。 | 流星群名 | 極大日 | 状況 |
| | 小学校4年 | 5. 星や月(1)星の明るさや色 ◎星の明るさや色 7. 星や月(2)月の動き 1. 半月の動き 2. 満月の動き 10. 星や月(3)星の動き ◎星の動き | 3時間 6時間 3時間 | | ① こと座(4月) 4月22日 ② ペルセウス座 8月12日 ③ オリオン座 10月21日 ④ しし座 11月17日 ⑤ ふたご座α 12月14日 | ・明るい高速流星が多いのが特徴。極大日の前後も期待される。 ・12日、夜半後おうし座に下弦の月があるが影響は少ないだろう。 ・今年は、輻射点が昇る22時前に月が西没するため、条件が良い。 ・今年は、輻射点が昇る夜半後は好条件。18日の早朝も期待したい。 ・明るく有痕流星が多い。14日早朝は夜半から薄明開始に向けて、出現を期待したい。 | | | | |

各地の緯度・経度 東京 北緯 35° 39' 東経 139° 44' 名古屋 北緯 35° 10' 東経 136° 55' 大阪 北緯 34° 41' 東経 135° 29' 福岡 北緯 33° 35' 東経 130° 24'